

標準仕様

クリーンスポットエアコン(本体) (50/60Hz)

対象人数	4人用		
型式	SR-NP8C1		
冷房能力※ kW	6.5/7.1		
外形寸法(高さ×幅×奥行) mm	772×740×870		
質量 kg	103		
電気特性※	消費電力 kW	3.10/4.02	
	EER kW/kW	2.09/1.76	
	運転電流 A	12.3/13.2	
	力率 %	73/88	
電源	始動電流 A	60/52	
	電圧	三相200V	
圧縮機	型式	ロータリー	
	電動機出力 kW	2.20	
送風機	蒸発器側	型式	シロココファン
		風量m ³ /min	22/26
	凝縮器側	機外静圧 Pa	93/125
		風量m ³ /min	58/65
電動機出力 kW	0.400+0.100		
冷媒・封入量	R410A・1.65kg		
保護装置	ファン電動機プロテクター・逆相防止リレー・動力用ヒューズ・操作回路用ヒューズ・過電流継電器・インターナルサーモ・凍結防止サーモ・高圧遮断装置		
IPコード	IPX0		
運転範囲 °CDB	10~48		

高性能フィルターユニット

型式	FU-8B	
外形寸法(高さ×幅×奥行) mm	750×760×600	
質量 kg	40	
高性能フィルター	捕集効率 %	99(at0.3μm)
	ろ材	ガラス・セルロース

※冷房能力および電気特性は吸込空気37°CDB/30°CWB時の値です。
(JRA4040:2018 スポットエアコンに基づく)

- 注1) 電源ケーブルが長いまたは細い場合などは、電源電圧が低下して圧縮機がスムーズに運転開始しないばかりでなく保護装置が作動したり故障の原因になることがあります。
注2) GMP(医薬品の製造管理および品質管理基準)規格対応についてクリーンスポットエアコンおよび高性能フィルターユニットは、GMP規格に基づいたDOP試験(もれ試験)には対応していません。
注3) 機外静圧は高性能フィルターユニット接続時の値で、高性能フィルター終期での運転可能な最大の機外静圧を示します。
注4) 製品には下記GWP値(地球温暖化係数)のフロン類が封入されています。
*セパレート型室内ユニットを除く。

使用するフロン類などの種類	GWP値
R407C	1770
R410A	2090

耐塩害仕様

■セパレート型室外ユニット耐塩害仕様(受注対応品)

■据付場所について

	耐塩害仕様	耐重塩害仕様
据付場所	潮風には当たらないが、その雰囲気にあるような場所 	潮風の影響を受ける場所 (ただし、塩分を含んだ水が直接機器にかからない)
設置場所条件	<ul style="list-style-type: none"> 室外ユニットが雨で洗われる場所 潮風の当たらない場所 室外ユニットの設置場所から海までの距離が約300mを超え1km以内にある場所 室外ユニットが建物の陰になる場所 	<ul style="list-style-type: none"> 室外ユニットに雨があまりかからない場所 潮風が直接当たる場所 室外ユニットの設置場所から海までの距離が約300m以内にある場所 室外ユニットが建物の表(海岸面)になる場所 室外ユニット設置場所付近のトタン屋根・ベランダの鉄製部の塗り替えなどが多い場所

■海岸からの設置距離目安(設置環境により条件が変わります)

1. 直接潮風の当たるところ

	設置距離目安		
	300m	500m	1km
①内海に面する地域*	耐重塩害	耐塩害	—
②外洋に面する地域	耐重塩害	—	耐塩害
③沖縄、離島	耐重塩害	—	耐塩害

※瀬戸内海など

2. 直接潮風の当たらないところ

	設置距離目安		
	300m	500m	1km
①内海に面する地域*	耐塩害	—	—
②外洋に面する地域	耐重塩害	—	耐塩害
③沖縄、離島	耐重塩害	—	耐塩害

※瀬戸内海など

注) 耐塩害仕様・耐重塩害仕様の選択は、設置環境により条件が変わる場合(例えば季節風・台風の影響の強い地域)を除いたときの目安です。

据付上および維持管理上のご注意

■据付上の注意(維持管理について)

JRA耐塩害仕様機・耐重塩害仕様機は素材や塗装内容を強化していますが、腐食に対して万全ではありません。このため、次のような据付計画と保守を行うことで防食効果を高める必要があります。

- 海水飛沫および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置してください。
 - 機器の設置は建物の風下にしてください。
 - やむを得ず海岸面に機器を設置する場合でも、防風板を設けて直接潮風が当たることを避けてください。
 - 据付方向に注意してください。(海岸線に平行と直角では腐食度合いが異なります)
- 外装パネルに付着した海塩粒子が、雨水によって十分洗浄されるように配慮してください。
- 室外ユニットソコベースへの水の滞留は、著しく腐食作用を促進させるため、ソコベース内の水抜け性を損なわないよう傾きなどに注意してください。
- 海岸地域への据付品については、付着した塩分などを除去するために定期的に水洗いを行ってください。
- 水はけの良い場所に設置してください。特に基礎部分の排水性を確保してください。
- 据付・メンテナンスなどに付いた傷は、必ず補修してください。
- 機器の状態を定期的に点検してください。(必要に応じて再防錆処置や部品交換などを実施してください)

■メンテナンス時の留意事項

- 機器のメンテナンスを十分に行ってください。(水をはじくグリスやワックスなどの防錆塗装を据付時、および3か月ごとに塗布する)
 - シーズンオフなど長期間機器を停止する時は、機器にカバーをかけるなどの処置をしてください。
- 注) 特殊な雰囲気(機器を設置する場合は、別途十分考慮する必要があります。